

事務事業評価表 平成22年度

政策 安全で快適な都市生活の充実  
 施策 安全な暮らしの確保  
 基本事業 快適で安らげる生活環境の充実

事業名 **環境衛生対策促進事業**

[0249]

部名	生活環境部	事業開始年度	- 年度	実施計画事業認定	非対象
課名	市民生活課	事業終了年度	- 年度	会計区分	一般会計

事務事業の目的と成果	
対象	(誰、何に対して事業を行うのか) 市内全域
意図	(この事業によって対象をどのような状態にしたいのか) 放し飼い等の防止や空地の雑草を除去し、安全で快適な住環境の保全を図る。
手段	(事務事業の内容、やり方、手段) 畜犬登録、狂犬病予防注射の実施、野犬掃とうの実施及び空地の環境調査を行う

事業量・コスト指標の推移						
区分		単位	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度当初
対象指標1	市内全域面積	Km <sup>2</sup>	187.57	187.57	187.57	187.57
対象指標2						
活動指標1	市内巡回指導件数	件	129	121	115	180
活動指標2						
成果指標1	苦情件数	件	242	215	125	150
成果指標2						
単位コスト指標						
事業費計 (A)		千円	13,123	5,845	5,908	5,913
正職員人件費 (B)		千円	12,980	12,955	5,809	6,662
総事業費 (A) + (B)		千円	26,103	18,800	11,717	12,575

費用内訳	
21年度	報酬 3,498千円、需用費 510千円、役務費 391千円、委託料 1,510千円

# 事業を取り巻く環境変化

事業開始 背景		事業を 取り巻く 環境変化	
------------	--	---------------------	--

## 21年度の実績による事業課の評価（7月時点）

(1)税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？

- 義務的事務事業
- 妥当である
- 妥当性が低い

理由  
・  
根拠は？

狂犬病予防法に基づき畜犬登録、予防注射、野犬掃とうの実施  
江別市空き地環境保全に関する条例に基づき空地の雑草等の除去

(2)上位の基本事業への貢献度は大きいですか？

- 貢献度大きい
- 貢献度ふつう
- 貢献度小さい
- 基礎的事務事業

理由  
・  
根拠は？

狂犬病の発生を予防し、人や家畜への危害を防止する。  
空地の雑草等を除去し地域生活環境が確保される。

(3)計画どおりに成果はあがっていますか？計画どおりに成果がでていない理由、でていない理由は何ですか？

- あがっている
- どちらかといえばあがっている
- あがらない

理由  
・  
根拠は？

啓発及び広報活動を進めることで成果が上がっている。

(4)成果が向上する余地（可能性）は、ありますか？その理由は何ですか？

- 成果向上余地 大
- 成果向上余地 中
- 成果向上余地 小・なし

理由  
・  
根拠は？

犬、猫の飼い主のマナーが悪いため広報などで今後も周知し放し飼い等の防止を図る。  
空地等の所有者に指導、勧告、電話等で催告することで地域の生活環境が確保される。

(5)現状の成果を落とさずにコスト（予算＋所要時間）を削減する新たな方法はありませんか？（受益者負担含む）

- ある
- ない

理由  
・  
根拠は？

犬の飼い方の指導の強化  
空き地の地主への周知徹底